

うめっこ育て隊日記 ③② 平成30年9月1日(土)



多くの「うめっこ育て隊」の皆さんが
受付をしてくださいました



校長講話でも、「うめっこ育て隊」の皆さんの支援
活動が紹介され、感謝の言葉が述べられました



今日は小学校の地域公開祖父母参観日。8時40分から
10時50分まで、授業参観、校長・PTA会長のお話、金
管バンドや合唱団の発表などが行われました。

日頃子どもたちのためにいろいろなご支援をいただ
いている「うめっこ育て隊」の皆さんに事前に案内状を
送り、子どもたちの成長をご覧いただきました。

観覧の間には特設の休憩室で、お茶を召し
上がりながら歓談していただきました。



うめっこ育て隊日記 ③③ 平成30年9月7日(金)

中学校1年のK先生から、生徒の「森と水のアウトドア体験広場」の所在は宮田村なのに、運営は駒ヶ根市になっている。宮田村の観光はどうなっているの」と「村の災害に向けての備えはどうなっているの」という2つの疑問に答えてほしいと要請がありました。

観光については役場商工観光係のHさんから、地権と行政区割りの違いとこれまでの経緯、そして村が観光に力を入れている点などについて説明がありました。生徒たちは疑問が解け、少し安心した様子でした。

防災については、村全体の防災の取り組みについて役場総務係のSさんとMさんから、また、地域の自主防災については町3区の区長さんから丁寧に説明してもらいました。生徒たちはあらためて自主防災の大事さを実感したということです。



説明のあと地区の防災倉庫も見せてもらいました



宮田村の土地なのに、どうして駒ヶ根市のものになっているのという疑問が解けてスッキリ!



うめっこ育て隊日記 ③④ 平成30年9月10日(月)



みんな、自分の名字を手話で表せるようになったね



Hさんの手話を通訳の方が言葉にしてくれます

小学校の聴導犬クラブの先生から、どなたかに手話を教えてほしいと依頼がありました。村にお住いで耳に障がいを持つHさんが、通訳の方と一緒に引き受けてくださいました。

Hさんは子どもたちに「聴覚障がい者は他の障がい者に比べ、周りの人に気づいてもらいにくく、人とコミュニケーションをとるには手話しかない。みんなが手話を覚えてくれると嬉しい。」と話し、初めに国語、算数など教科名を手話で表したあと、児童一人ひとりの名字を手話でどう表すか教えてくださいました。

「7月に予定していたクラブ活動が熱中症予防のため中止になって残念だったが、やっと実施できてうれしい。子どもたちは覚えるのが早いね。」と笑顔で語っていました。



うめっこ育て隊日記 ㊦ 平成30年9月14日(金)



森林組合支所長さんの講義



間伐について説明を聞く児童たち



小型車両系高性能林業機械のすごさに感心

6年2組の先生から、8月の林務係の講義に続いて、間伐の様子を見学させていただきたいと要請があり、上伊那森林組合のご協力で実現しました。

学校で支所長さんから間伐についての講義を受けたあと、バスで宮田高原へ出発。霧の中を間伐現場まで歩くこと数十分。子どもたちは目の前で繰り広げられる間伐の作業に興味深く見入り、森林組合のKさんの説明を真剣に聞いていました。以前の間伐は木を伐採して山から木を運び出すまでを人の手により行っていたこと、間伐の人手不足と危険を伴う作業であることから森林が放置され多くの問題が出ていること、今はこうして高性能の機械を駆使して間伐が行われていることなどを聞き、子どもたちは間伐の重要さとともに森林についてもっと知る必要があることを実感しました。

学んだあとはKさんとHさんに指導を受けながら飯ごう炊さんを楽しみ、宮田高原の自然を満喫していました。お二人は顔見知りの子どもたちの成長を見て、目を細めていました。飯ごうのご飯、ホントにおいしかったね！

飯ごう炊さんの手ほどきを受けました



うめっこ育て隊日記 ③⑥ 平成30年9月20日(木)



今日も子どもたちは、「お話し宅Q便」と「まほうのくれよん」等の皆さんによる読み聞かせで、本の世界に入り込んでいました。

読み聞かせの皆さんには活動が終わった後、休憩室でお茶を少し召し上がっていただいています。HさんとOさんは「私たち、たまに顔を合わせることはあったのに、交流はなかったわねえ。この読み聞かせで親しくなれてうれしい。これも読み聞かせのおかげね」とニコリ。

お互い色々な特技があることも改めて知ることができたようです。今後また、いろいろなシーンでご活躍していただきたいものです。



この日Kさんは登校の見守りをしながら来てくださいました。感謝です



うめっこ育て隊日記 ③⑦ 平成30年9月20日(木)



自己紹介するHさんと奥は助手のTさん



なすの葉と茎をそれぞれ煮出します



液に布を入れて染めます



葉と茎でも仕上がりの色に違いが

4年3組の先生から、「染物についての学習と、収穫したナスの茎を使って草木染を体験したい」との要請がありました。染物と言えどこの方、染色の卓越した技能を持つ「信州ものづくりマイスター」のHさんです。

今日は明日の事前学習で、染物について説明を受けました。「染物には植物、鉱物、動物などいろいろなものが使われ、ナス1本でも部位によって色の違いがある。草木染は草木の命をもらって作るもの。作業は段取りが大事だよ。火を扱うから、気をつけて」というHさんのお話を子どもたちは真剣に聞いていました。

子どもたちは「いろいろなものを使って染めることがわかった」、Hさんは「難しかったかもしれない。染めるということを少しでもわかってもらえたら」と感想を述べていました。



うめっこ育て隊日記 ③⑧ 平成30年9月21日(金)

昨日に引き続き、染物を体験しました。ナスの茎と葉っぱを別々のボウルで煮出し、最初に煮出した1液と、中身を取り出してもう一度煮出した2液を作り、それぞれにつけた絹の布を今度は鉄と銅の色止め液の中につけ、色の違いを観察しました。まるで実験です。1液は色が濃く2液は薄く染まり、Hさんは「何度も水を替えるごとにきれいに薄く染まる。時間をかけ、手をかけるほどきれいで長持ちする染物ができるよ」とものづくりの極意を伝えていました。また、最後には絞りの実演も見せてもらい、糸で固く絞って染めた布を開くといろいろな模様ができて、子どもたちはマジックを見るように感心していました。

Hさんは「子どもたちに染物を少しでも知ってもらえてよかった。」とほっとした様子でした。



ナスの葉と茎を別々に煮るよ

色止めの鉄と銅の液体で色の違いが・・・



固く絞って染めたものをひらいてみると・・・ホラ、このとおり



うめっこ育て隊日記 ③⑨ 平成30年9月21日(金)

駒ヶ根警察署と合同で通学路危険箇所緊急合同点検を関係者21名で実施しました。合同点検には「うめっこ育て隊」の見守り隊員Aさんも参加をして、児童の安全確保のため通学路を徒歩にて点検を行いました。

事前に保護者から危険と思われる通学路の情報収集をしたほか、特に改善を必要とする箇所として通学路安全プログラム策定をしている箇所についても点検作業を実施しました。

現在、このプログラムに位置付けられている村道1号線(北割線)の北割線踏切付近から広域農道までの間について、国の社会資本整備総合交付金を活用しながら、安全・安心な通学路の確保のための道路改良工事を進めています。

児童、生徒のための地域づくりに、引き続きご協力をお願いします。



雨が降っていたとはいえ、こんなにうす暗いところもあります。



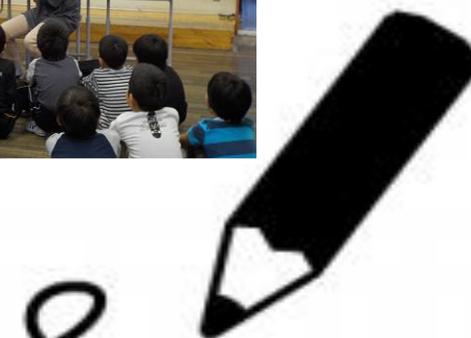
うめっこ育て隊日記 ④⑩ 平成30年9月27日(木)



今朝も「お話し宅Q便」と「まほうのくれよん」等の皆さんによる読み聞かせが行われました。

今日、Hさんが選んだ中の1冊は「へらない稲たば」という朝鮮の昔話で、他の方にも時々読まれる本です。兄は弟を思い、弟は兄を慕うなんとも清らかな心のありように、ついほろっとしてしまう美しいお話です。

Hさんの温かい気持ちのこもった声で語られると、物語も心にもすっと入ってしみりしてしまいます。兄弟のいる子どもたち、今日の兄弟げんかはお休みかな？





もっと早くひいてみよう



出だしをはっきり歌うと良くなるね



歩いてワンツー、ワンツー



体を左右に倒してなめらかに

小学校の音楽会までひと月を切りました。1年生の音楽を、今日は「MMC」のKさんが指導してくださいました。

普段から練習を頑張っているおかげでずいぶん上手になっていますが、もっと良くなるようにと、Kさんが「歌詞の頭の部分をはっきり歌おうね」とメリハリをつけ、元気な部分は歩きながら、なめらかな部分は体を左右に動かしながら、リズムを体感させていました。

おかげで増々かっこよく歌えるようになりました。

音楽会が楽しみだね！

